

《最近の県内経済》 (2024年12月を中心として)

今月の概要

緩やかに持ち直している。



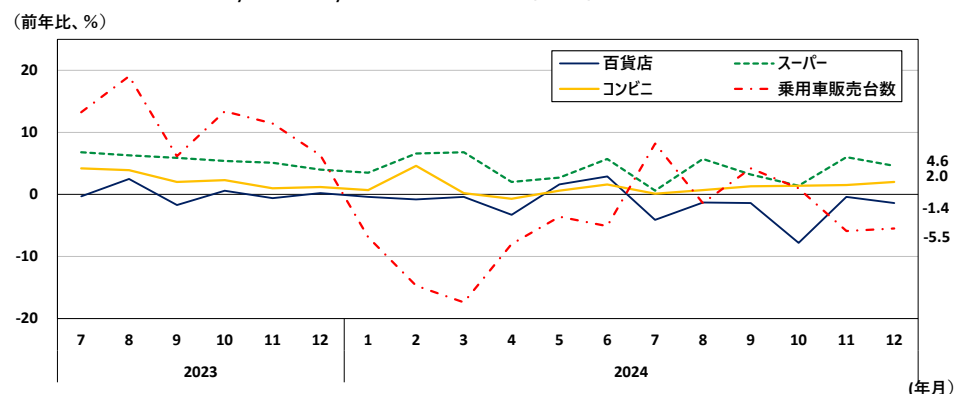
前月比

1 個人消費 ～緩やかに持ち直している



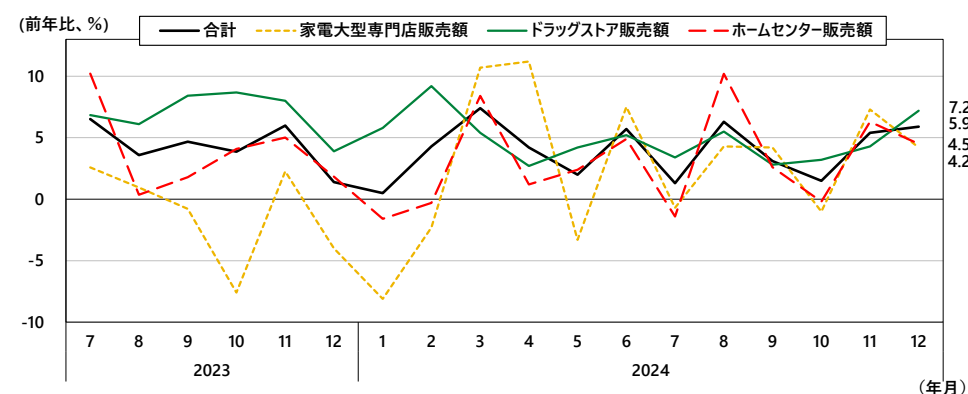
前月比

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、緩やかに持ち直している。

12月の百貨店およびスーパーの販売額（店舗調整前）は、百貨店は170億円で前年比1.4%減（6か月連続の減少）、スーパーは1,325億円で同4.6%増（27か月連続の増加）となった。また、コンビニ販売は602億円で同2.0%増（8か月連続の増加）となった。気温低下による冬物商材や高値傾向の青果などが売上増に寄与した。

また、乗用車販売は、前年比5.5%減と2か月連続の減少となった。内訳をみると、普通車が同1.7%増（6か月連続の増加）となったものの、小型車が同26.5%減（2か月連続の減少）、軽自動車と同0.9%減（5か月連続の減少）とそれぞれ減少した。

12月の専門量販店販売額は、948億円で前年比5.9%増と27か月連続の増加となった。内訳をみると家電大型専門店が222億円で同4.2%増（2か月連続の増加）、ドラッグストアが497億円で同7.2%増（31か月連続の増加）、ホームセンターが229億円で同4.5%増（2か月連続の増加）となった。

家電専門店ではエアコンや理美容家電、ドラッグストアではビューティケア関連や医薬品などが好調だった。

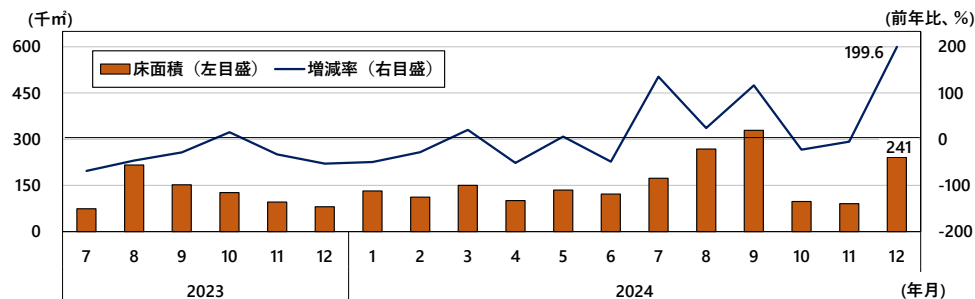
関東1都6県の消費者態度指数（原数値）は、11月〈36.5〉、12月〈36.8〉、1月〈35.8〉と推移している。

2 設備投資～持ち直している



前月比

民間建築着工床面積(非居住用)

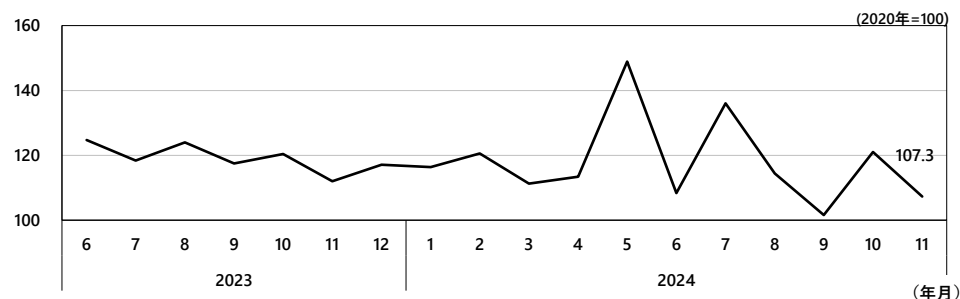


(資料) 国土交通省

12月の民間建築着工床面積(非居住用)は、241千㎡で前年比199.6%増と3か月ぶりの増加となった(5か月後方移動平均でも、前年比53.1%増加)。

用途別にみると、事務所は減少したものの、店舗、工場及び作業場、倉庫、学校の校舎、病院・診療所はいずれも増加した。

資本財出荷指数(季節調整済)



(資料) 埼玉県

11月の資本財出荷指数(季節調整済)は107.3で、前月比11.3%減と2か月ぶりの減少となった(5か月後方移動平均も、前年比0.2%減少)。

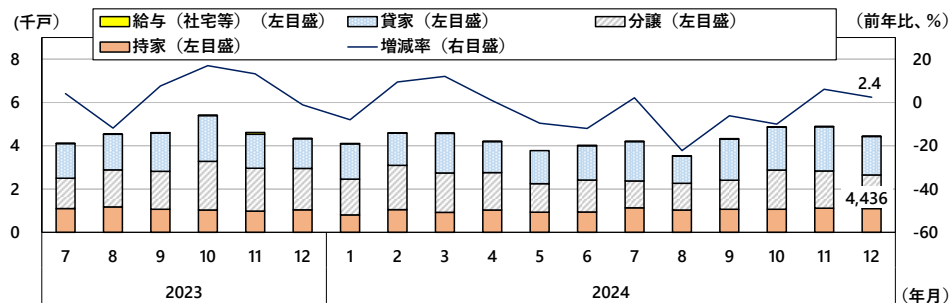
当研究所が2024年8月に実施した「設備投資動向調査」では、企業の設備投資計画額は、前年比増加している(全産業前年比+25.3%)。

3 住宅建設～弱含んでいる



前月比

新設住宅着工戸数



(資料) 国土交通省

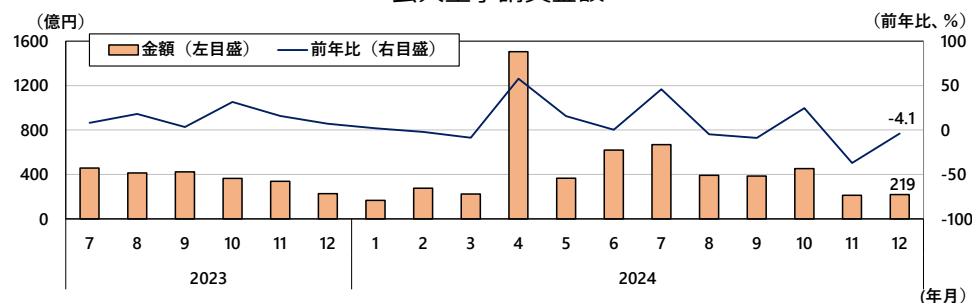
12月の新設住宅着工戸数は、4,436戸で前年比2.4%増と2か月連続の増加となった(5か月後方移動平均では6.1%減)。利用関係別にみると、分譲マンション(310戸)は同45.8%減、分譲一戸建て(1,234戸)が前年比8.0%減となったものの、持家(1,104戸)が同6.2%増、貸家(1,774戸)は同28.9%増となった。

4 公共工事～底堅く推移している



前月比

公共工事請負金額



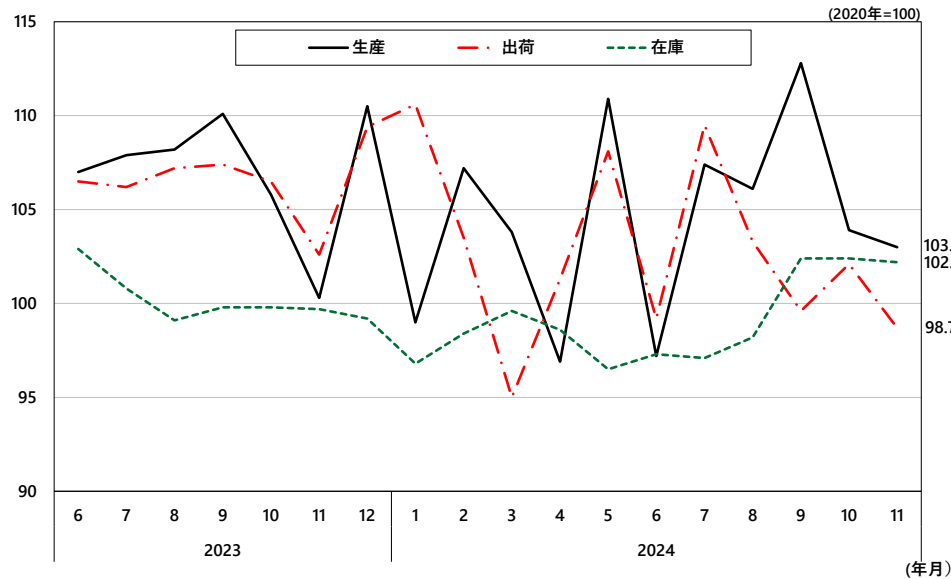
(資料) 東日本建設業保証株式会社

12月の公共工事請負額は219億円、前年比4.1%減となった(2か月連続の減少)。5か月後方移動平均でも前年比5.9%減で推移。発注者別の前年比をみると、独立行政法人等、都道府県、地方公社は増加したものの、国、市区町村は減少した。

5 生産活動 ～一進一退

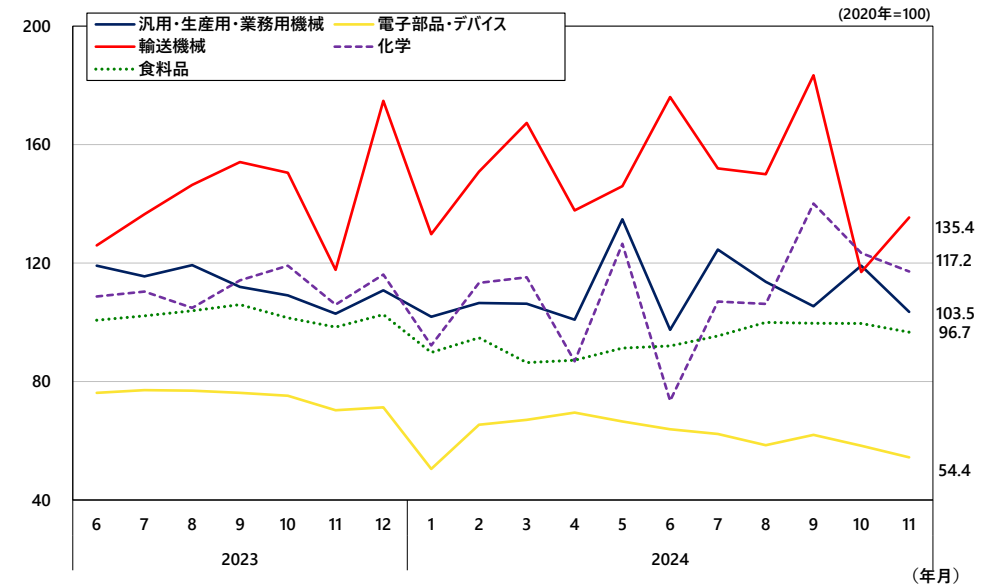


鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



(資料) 埼玉県

主要業種の生産指数(季節調整済)



(資料) 埼玉県

11月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、103.0で前月比0.9%低下した(2か月連続の低下)。輸送機械(航空機用部品)、業務用機械(医療用機械器具、精密測定機)などが上昇したが、生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置)、化学(医薬品、ウレタンフォーム)などが低下した。

出荷指数(同)は、98.7で同3.3%低下(2か月ぶりの低下)。輸送機械(航空機用部品、乗用車)、業務用機械(医療用開花器具、精密測定機)などが上昇したが、生産用機械(半導体製造装置、フラットパネル・ディスプレイ製造装置)、化学(化粧品、医薬品)などが低下した。

在庫指数(同)は、102.2で同0.2%低下(4か月ぶりの低下)。情報通信機械(金銭登録機(端末機能付)、ガス警報器)、電気機械(プロセスオートメーション用計測制御機器、H I Dランプ)などが上昇したが、輸送機械(乗用車、完成自転車)、化学(印刷インキ、合成樹脂塗料)などが低下した。

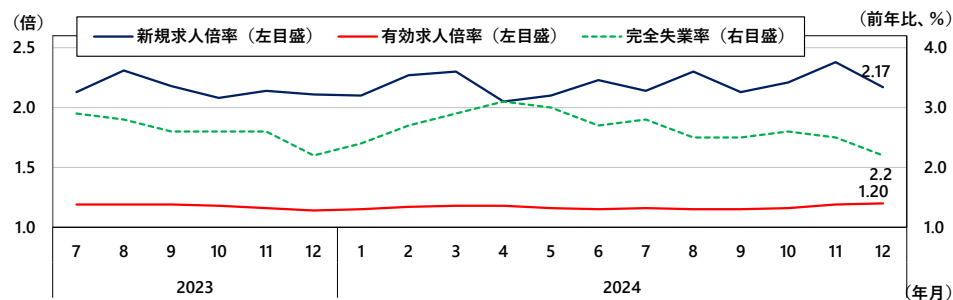
- ◆ 汎用・生産用・業務用機械の生産指数(季節調整済)は、103.5で前月比13.1%低下し、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は、54.4で同6.7%低下し、2か月連続の低下となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、135.4で同15.7%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 化学(同)は、117.2で同5.0%低下し、2か月連続の低下となった。
- ◆ 食料品(同)は、96.7で同2.9%低下し、3か月連続の低下となった。

6 雇用情勢 ～緩やかに持ち直している



前月比

求人倍率(就業地別・季節調整値)／完全失業率(南関東・原数値)



(資料) 厚生労働省、総務省

12月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.20倍で前月比0.01ポイント上昇(3か月連続の上昇)した。新規求人倍率(同)は、2.17倍で同比0.21ポイント低下(3か月ぶりの低下)となった。

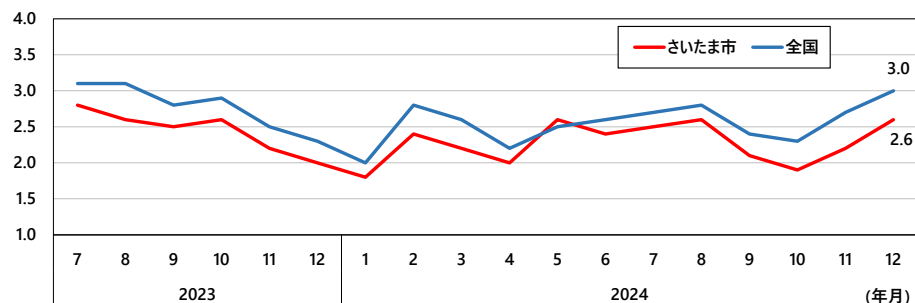
また、完全失業率(南関東、原数値)は、2.2%で前年同月比横ばいとなった。

8 消費者物価 ～緩やかに上昇している



前月比

消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)【前年比】



(資料) 総務省

12月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、108.4で前年同月比2.6%上昇した(39か月連続の前年同月上昇)。

食料(穀類)、教養娯楽(旅行費など)、光熱・水道(電気代など)などが上昇し、全体を押し上げている。

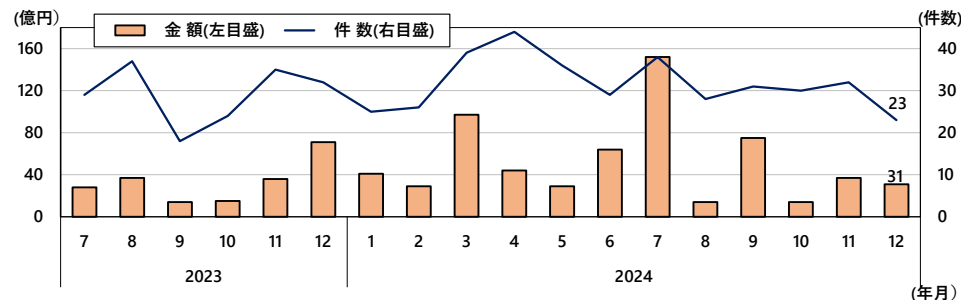
2024年平均の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、107.0で前年比2.3%上昇した(3年連続の前年比上昇)。

7 企業倒産 ～緩やかな増加基調にある



前月比

企業倒産(負債総額1千万円以上)



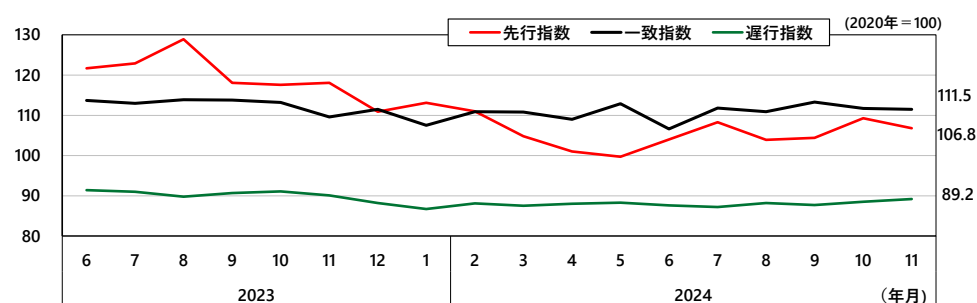
(資料) 帝国データバンク

12月の企業倒産件数は23件で前年同月比9件の減少となった。また、負債総額は31億円で同40億円の減少となった(5か月移動平均では、件数は前年比横ばい、負債総額は同1億円の減少)。一時的にテンポは落ちているものの、緩やかな増加基調にある。

業種別にみると、サービス業が最多で9件、次いで建設業、小売業がそれぞれ4件となっている。主因別では、販売不振が29件となっている。

〈参考〉景気動向指数(CI)～下げ止まりを示している

景気動向指数(CI)



(資料) 埼玉県

- 11月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、111.5で前月比0.2ポイント下降し、2か月連続の下降となった。
- CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、106.8で同2.5ポイント下降し、3か月ぶりの下降となった。
- CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、89.2で同0.7ポイント上昇し、2か月連続の上昇となった。